七峡だより

令和　２年　８月　３日
荒川区立第七峡田小学校
校長　　髙　田　　大

夏の盛り

副校長　片山　直子

８月になりました。毎月、学校だよりを発行していますが、「８月号」を発行するのは、初めてのことかも知れません。例年はこの時期、夏休み中だからです。しかし、今年は感染症拡大防止のための休校が５月末まで続いた影響で夏休みが８月８日から２３日までに短縮され、１学期をまだ１週間残しています。慣れない真夏の登校を、子供たちは本当によく頑張っています。

いつもの年と違う短い夏休み。各学年から課題等も出されます。健康、安全に留意しながら、有意義な時間をお過ごしください。

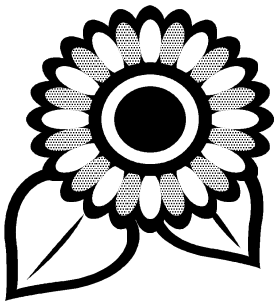
今年は梅雨の季節が長く、全国各地で記録的な降雨量となりました。大雨の被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。関東地方も梅雨らしいぐずついた日が続きました。雨で校庭に出られない日は子供たちが残念そうにしていましたが、日差しが少ない分、気温の上昇が押さえられたので、多少は過ごしやすかったように思います。これから夏を過ぎ、秋が深まるまでに、今度はいくつかの台風が関東地方に近付いてくる可能性があります。「気象警報が発令されたときの対応について」というお便りを先日お配りしました。今後、気象警報が発令されるような荒天に見舞われた場合は、以下の荒川区全小中学校共通の規準に沿って対応のご判断をお願いします。

	午前６時の荒川区の警報の状況		授業形態	対　　応	給食
１	特別警報	大雨（土砂災害・浸水害） 暴風・暴風雪・大雪	臨時休業	情報に注意し、各家庭において身の安全の確保を行う。	なし
２	警　　報	洪水警報	臨時休業	事前に避難方法を各家庭で決め、状況に応じた行動を取る。	なし
３	警　　報	暴風警報・暴風雪警報	午前休業	午後の授業実施については午前１１時の気象情報により実施を判断する。	なし

※暴風警報・暴風雪警報が継続→臨時休業
　暴風警報・暴風雪警報が解除→５校時より授業

傾聴力を高める

現在学校では、室内ではマスクを付けて生活しています。そうすると、顔が半分覆われてしまうため、人の表情がわかりにくくなります。そこで必要になってくるのが「傾聴力」です。「傾聴」とは「耳を傾けて、熱心に聴く」という意味です。

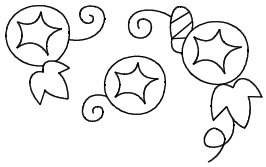


「聴く」という行為は、単に表面的に話を受け止めることではありません。話の意味やそこに込められた相手の感情をよく考え、さらに最適なリアクションを返すことによって話し手とコミュニケーションをとっていくものです。表情は、その人の気持ちを時に言葉より雄弁に語ります。マスクを付けることでその表情がわかりにくくなっている今こそ、人の話をよりじっくりと聴く習慣を付けていきたいものだと思います。

８月の主な行事

日	曜	行事	日	曜	行事
1	土		20	木	
2	日		21	金	
3	月	保護者会(低学年)15:00～各教室	22	土	
4	火	保護者会(高学年)15:00～各教室	23	日	夏期休業日終
5	水	避難訓練　特別時程　５時間授業	24	月	始業式　給食なし　３時間授業
6	木	給食終　大掃除　特別時程　５時間授業	25	火	給食始　発育測定(高学年)　安全指導 特別時程
7	金	終業式　３時間授業	26	水	発育測定(中学年)　さわやか運動 ４時間授業
8	土	夏期休業日始	27	木	発育測定(低学年)
9	日		28	金	委員会活動
10	月	山の日	29	土	
11	火	教育活動休止日	30	日	
12	水		31	月	運動会特別時程始　眼科検診
13	木		1	火	総合防災避難訓練
14	金		2	水	耳鼻科検診　地区班会５校時 特別時程
15	土		3	木	縦割り班顔合わせ 視力検査(高学年)
16	日		4	金	クラブ活動　視力検査(中学年)
17	月		5	土	授業公開日(予定)
18	火		6	日	
19	水		7	月	

８月の生活指導　【夏休みの過ごし方について】



夏休みが８月８日からスタートします。以下の点に気を付けて生活してください。

１　きまりのある生活をする。
　生活リズムが崩れないように計画を立てて過ごしましょう。

２　健康に気を付けて生活する。
　マスクを着けての生活が基本となります。熱中症にならないために喉が渇くまえに水分をとりましょう。

３　安全なくらしをする。
　遊びに行くときは「だれと」「どこへ」「何時まで」を必ず家の人に伝えましょう。
　「いかのおすし」を守りましょう。

校内研究について

第七峡田小学校では、昨年度から町屋幼稚園と合同で校内研究に取り組んでいます。町屋幼稚園だけでなく、さまざまな就学前施設から入学してくる１年生が、小学校でも十分に自己を発揮できる環境づくりを目指しています。そのための部屋として今年度から『ななはけラボ』が新設されました。どのように活用しているかなど詳しい内容については、９月以降に発行される研究だよりをご覧ください。